

第十一回徳島県民文化祭主催事業 分野別フェスティバル

四十周年記念

邦楽大会

と き

平成二十二年十月十二日(日)
十時三十分開演(十時開場)

と ころ

徳島県郷土文化会館

主催 徳島県邦楽協会

徳島県民文化祭開催委員会

助成 (財)徳島県文化振興財団

いあいさし

徳島県邦楽協会会長
杵屋佐篠



徳島県邦楽協会は昭和四十二年に発足して昨年で四十年を迎えました。昨年は国民文化祭とくしま2007「おどる国文祭」が開催され、邦楽協会も「邦楽の祭典」に全力投球しました。このため四十周年の記念大会は本年に持ち越し、本日ここに開催する運びとなりました。

今でこそ邦楽は見直され、学校教育にも取り入れられ、日本の伝統文化、古典芸能が各地で開催されております。一般の方々にも接して頂く機会が多くなり、広く世の中にも認められつつあります。しかし本協会発足当時は各流派の交流は少なく、閉鎖的になりがちでした。こうした古典芸能の世界を四十年の長きにわたり、今日の邦楽協会を築かれたのは、初代・春名会長、共に歩まれた大櫛前副会長のご尽力の賜であります。

お二人の良きコンビは、時には離れ、また結び付き、お互いに反発し合いながらも融合されている絶妙のコンビ。そんなお二人の後から何も分らずただひたすら発足当時からくっ付いていたのが私です。そんな私に協会を託されたのですから、余程の勇気と決断があったのではないかと思います。春名先生がご勇退にあたりおっしゃられた言葉「僕は退いても三味線だけは弾きたい。忘れずメンバーに入れておいてください」。芸に対するひたむきな情熱と純粹な愛情に私は感銘を受けました。

今日まで立派に育てていただいた邦楽協会、今後は協会の一人一人が力を結集し、これに応えなければと思っています。

本日はご来場くださいました皆様、どうか何時迄も本協会にご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

祝 辞

徳島県知事

飯 泉 嘉 門

このたび、第四十回徳島県邦楽大会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。また、本大会の開催に向けて、多大なご尽力をいただきました徳島県邦楽協会の皆様に、深く敬意を表する次第でございます。

「邦楽」は、長い歴史と風土によって育まれた伝統芸能であり、日本文化の奥深い魅力を味わうことができる、素晴らしい芸術であります。

今年で四十回の節目を迎える本大会に、県内各地から、邦楽を愛好する多くの皆様が集い、日ごろの練習の成果を発表されますことは、邦楽の分野にとどまらず、本県の芸術文化活動全体の振興にもつながるものであり、大変意義深いことでもあります。

さて、徳島県邦楽協会の皆様には、本大会の開催はもとより、地域に根ざした様々な活動を通して、本県における邦楽の継承と後継者の育成にも熱心に取り組んでいただいております。特に、昨年の「第二十二回国民文化祭・とくしま2007」おどる国文祭の「邦楽の祭典」の開催にあたりましては、企画・運営全般にわたり、多大なご協力をいただき、「あわ文化」を全国に向けて力強く発信することができたところであり、ここに改めて感謝を申し上げます。

また、本大会は、この「国民文化祭」の成果の継承・発展を目指す「おどる国文祭」一周年記念 第十一回徳島県民文化祭」の分野別フェスティバルとしても位置づけられております。

皆様方の見事な演奏や名演技の数々を通し、観客の皆様には伝統芸能の魅力と「あわ文化」の大きな可能性をお伝えいただけますとともに、「文化立県とくしま」の実現に向け、一層のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

結びといたしまして、徳島県邦楽協会の更なるご発展と、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成二十年十月



1 謡

忠 度

曲 喜多流喜陽会
仕舞 観世 世阿弥 作

2 三

阿波の風

曲 都山流尺八楽会徳島県支部
宮城会四国支部 内田社中
石垣 征山 作曲

司会 NHK 萬代裕子

シテ 中野広二

地謡 石野秀彦
西條泰彦
菖野拓郎
小野蓉子
山本淳子

狩野直喜
吉田文明
木下徹

尺八 A 飯藤方山

箏 A 内田道子

尺八 B 市原昶山

箏 B 宮岡陸子

太鼓 高橋 大久保 市原 地紙 貝出 浜田 市原 藤本 山上 杉口 飯藤 方山

賀川玲子 真島貴巳 高井祥子 井戸愛美 前田満子 原田陽子 宮岡量子 武知陸子 今倉千恵子 内田道子

三絃 A 山本欣志子
和藤千代子
佐藤知子
加藤美
三絃 B 菊香堯子
大溝清子
山本清子
十七絃 A 山上朋代子
十七絃 B 森上順子

3 吟 詠

青雲流日本吟詠会・欽水流吟詠会・関西吟詩文化協会明穂会・岳苺流吟詠会
吟詠鶯風流・和光流東山吟詠会・関西吟詩文化協会景昶会

構成吟

大西郷だいさいごう

構成内田欽水
ナレーション 島口澧光
尺八伴奏 市原紳山

西郷 南洲 作

偶 感

眞鍋景江
眞鍋景江
眞鍋景江
眞鍋景江
眞鍋景江
眞鍋景江
眞鍋景江
眞鍋景江
眞鍋景江
眞鍋景江

西郷 南洲 作

亡友月照十七回忌辰の作

貝出玲穂
右田明節
徳田美穂
米田珠穂
岡田芳穂



末松 青萍 作
兵児の謡

杉 聴雨 作
岩崎谷の洞に題す

西 道遷 作
城 山

平野 国臣 作
和歌「わが胸の」

岡崎 祥光
木下 綾
水上 水鷺
生越 水由

永浜 幹心
下坂 魁心
加藤 博心

葉久 仙鷺
野村 栄鷺
谷 美風
真木 野敬風
阿部 恵風
小山 翠風
酒井 瑛風

泊窪 彫鷺
大虎 勢鷺
木山 貢鷺
中 晴鷺
樋口 靖鷺
松島 孝鷺



4

琵琶

錦心流琵琶 欽水会

紅葉狩

高松 春月 作詞
永田 錦心 作曲

5

長唄

徳島佐苗会

宇宙戦艦ヤマト

(舞台面)

阿久 悠 作詞
宮川 泰 作曲
増田 篤志 編曲

さくらももこ 作詞
織田 哲郎 作曲
増田 篤志 編曲
福原 寛 鳴物手附

おどるポンポコリン

(舞台面)

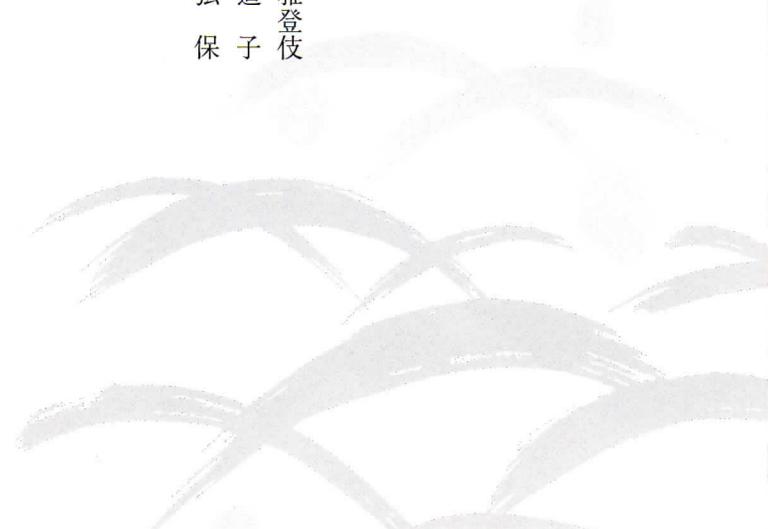
山 中 祥 水
吉 本 房 水
貝 出 玲 水

三味線 I
三味線 II
杵 屋 佐 真 彦 篠
杵 屋 佐 松 篠
杵 屋 佐 秀 篠
杵 屋 佐 世 篠
杵 屋 佐 彦 篠
杵 屋 佐 栄 篠
杵 屋 佐 世 篠
杵 屋 佐 彦 篠
杵 屋 佐 洋 篠
杵 屋 佐 津 伴
杵 屋 佐 有 伴

三味線 I
三味線 II
杵 屋 佐 真 彦 篠
杵 屋 佐 松 篠
杵 屋 佐 秀 篠
杵 屋 佐 世 篠
杵 屋 佐 彦 篠
杵 屋 佐 洋 篠
杵 屋 佐 津 伴
杵 屋 佐 有 伴

琴 藤 本 雅 登 伎
十七絃 内 田 道 子
尺八 浜 井 弘 保

琴 藤 本 雅 登 伎
十七絃 内 田 道 子
尺八 浜 井 弘 保
鳴物 杵 屋 佐 世 篠
杵 屋 佐 洋 篠
杵 屋 佐 津 伴



6

三

曲

都山流尺八楽会徳島県支部 萌の会

石川 勾当 作曲

新娘道成寺

尺八 七條峰山

三絃 井内久美子

箏

市原山 市原山 大久保山 田淵山 山 山 岡川明功 岩佐明想 八田雅子 近藤牙子 福多佳都子 佐藤広恵

武田薫 松本フジ子 橋口直美 山野真弓 山上朋代 井内久美子

7

長

唄

稀綾會・佳趣会

竹柴 瓢助 作詞

三世杵屋正治朗 作曲

元禄花見踊

(舞台面)

三味線

東音三木千佳子 森住美智子 阿部弘美 齊藤久代 大塚久美 杉生舞帆 稀音家治乃 坂本亜季美 市原和子 大野佐智子 東音田中香都子 東條大

唄

岸黒田 理弘子 上野乃村 瑠惟子 田本一心 芳星 雅昭



8 三

曲

徳島箏曲スタジオ・雅伎会・箏曲あきら会
都山流尺八楽会徳島県支部

菊重 精峰 作曲

彩花物語

箏I 藤本 雅登伎

十七絃 成川 雅富美

広瀬 雅伎京

津村 雅登代

野々村 雅楽彩

三絃 中村 眞紀子

林 紀子

福永 雅豊

大西 美枝子

藤川 大記

西岡 由加里

中村 いく代

西川 理子

和田 正美

白浜 雅伎

和川 純子

桑原 順子

多積 史子

美馬 欣子

松崎 希代香

林 直美

佐野 孝志

玉真 澄子

山本 眉山

森 澄代

阿部 関山

笠井 早苗

西尾 泰山

安井 美千江

高橋 洋山

荒井 真奈美

中村 眉信

泰地 光子

川原 眉有

山本 光子

川原 眉有

山本 光子

川原 眉有

三味線 鶴澤 友喜久

人形 森田 悦子

速稲 崎利子

水崎 玲子

太夫 大和 友代

9 義太夫 阿波人形浄瑠璃城北座
福島 俊治 編曲

艶容女舞衣

「酒屋の段」お園

三味線 鶴澤 友喜久

人形 森田 悦子

速稲 崎利子

水崎 玲子

太夫 大和 友代

春名先生、大櫛先生、

いつまでも私達とご一緒に・・・

11 三 曲

邦楽協会三曲部門役員
茶道裏千家淡交会徳島支部
春藤宗美社中
菊岡 検校 作曲

茶湯音頭

裏千家薄茶手前

尺八
大櫛 亜童

三絃
内田 道子

濱野 羊山
浜井 弘保
大西 晴二
山上 明山
清水 露保
杉口 珖山
村上 聖山
吉岡 萃山
兼松 劉保

内藤 本雅
井内 久美子
内藤 比露枝
菊華 茂美
元木 澄子
猪井 恵朱
山上 朋代
吉崎 夕華
白濱 雅伎

正客 山本 宗貴
次客 岡島 宗敏
亭主 法輪 宗都



12 長唄

長唄合同

松井 幸三 作詞

九世杵屋六佐衛門 作曲

越後獅子

(舞台面)

東音三木千佳子
稀音家 治乃

松 永 和世繁

松 永 和世幸

杵屋 佐篠

松 永和寿三郎

三味線

松 永和三治

浅 香 寿 穂

橘 公

杵家 弥代弘

杵家 弥智代

杵屋 佐田篠

杵屋 佐伴苗

囃子

笛 藤 舍 華 生

小鼓 洲 崎 晴 子

小鼓 林 郁 恵 枝

立鼓 藤 舍 艘 知 枝

大鼓 望 月 太 明 嗣 秀

大鼓 望 月 太 明 之

太鼓 望 月 太 明 之

13

三曲

沢井 比河流 作曲
沢井 箏曲院

流々

I

遠 藤 綾 子

岩 田 真 紀

千 本 彩 加

千 本 悠 加

小 倉 佑 一 朗

山 田 麻 悠 子

II

遠 藤 あゆみ

岩 田 里 奈

久 保 南 実

久 米 真 衣 奈

遠 藤 咲 季 子

森 河 美 樹



14

端唄 東会
作者不詳

深川

吉田 栄子
糸 日本橋 ひろ栄
唄 日本橋 あき栄

東雲節

若松 郁世
糸 日本橋 ひろ栄
唄 日本橋 みつ栄
蔭囃子

15

琵琶 薩摩琵琶 錦心流一水会阿波支部
長谷川 繡水 作

五月雨富士

出演 浜 旭水



長唄
鳴物

幸和会・春松会・古都和会
鼓月会

初世 杵屋 勝五郎 作曲
劇 神 仙 作詞

小鍛治

(舞台面)

三味線

古川 記公子
増富 利子
近藤 米子
友竹 滿江
松永 和三輔
松永 和三彩
松永 和三佳
原田 清子
松永 和三巖
島尾 滿子
秋月 公子

三味線

新居 京子
大久保 純子
鳥山 京子
岩脇 将昭
松永 和三貴
松永 和三依
松永 和三治
松永 和世博
松永 和世豊
松永 和知幸
松永 和繁千代
山本 幸枝

三味線

濱田 多映子
松永 和幸恵
松永 和幸節
濱田 暖
松永 和世美
松永 和世幸
松永 和寿三郎
唄
浅香 寿穂
橘 公
稀音家 四郎乃
松永 和世繁
金岡 明美

囃子

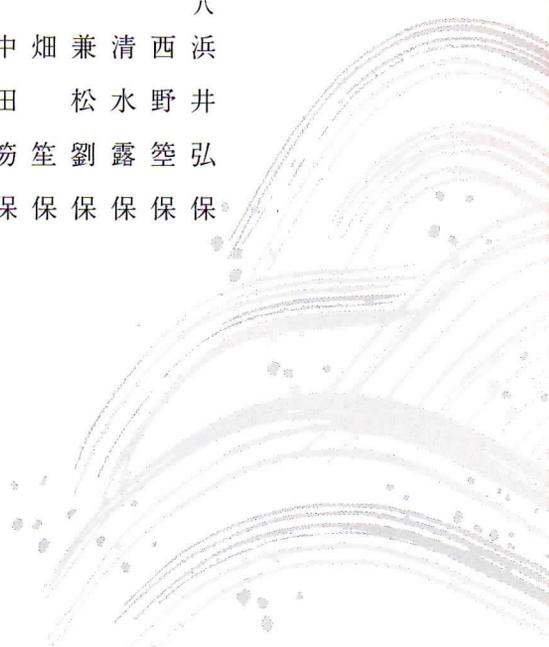
笛 藤 舍 華 生
小鼓 望 月 太 明 嗣
小鼓 雲 財 幸 恵
小鼓 南 知 太 明 之
立鼓 望 月 太 明 之
大鼓 藤 舍 郁 恵
太鼓 林 舍 郁 恵

古都の秋

三曲
野村正峰作曲
竹保流尺八徳島風の会・正絃社

第十七絃						第二箏					第一箏
桑村橋藤龜東松前龜東渡近奥室											
原雲本本谷本坂谷邊藤谷											
登志子由紀子千栄子芳美恵子絢生子篤由美子佳代望恵子悦子節志津代											

												尺八
池立井吉近白岩川岡乾近中畑兼清西浜												
田花下岡藤田野端田藤田松水野井												
慎正尚里寛克泰三美規浩道保保保保保保												
二郎規重美泰己三美規浩道保保保保保保												



19

三

曲

八綾乃会

光崎 検校 作曲

五段砦

箏低音 多田英治
箏高音 佐藤広崇

20

三

曲

都山流尺八楽会徳島県支部
日本当道音楽会所属箏曲古都和会

晩秋

初代 中村 双葉 作曲

尺八

濱野 村上 川上 悠聖 羊山
中川 悠聖 羊山
伊丹 千悠 悠聖 羊山
吉岡 萃山 悠聖 羊山
森岡 萃山 悠聖 羊山
天野 保山 悠聖 羊山
計盛 卓山 悠聖 羊山

第一箏

仁木 古都風
泰地 古都香
安田 古都子
広木 都乃風
吉崎 夕華
宮武 古都浩
津田 幸風
多喜田 聖風

第二箏



嗟峨の秋

菊末 検校 作曲

箏低音

佐藤	福多	橋口	山野	山田	八上	山見	須見	松本	児島	八田	岡川	斎藤	近藤	井内
広恵	佳都	直美	真弓	雅子	朋代	泰子	千生子	琴子	明子	茜子	年子	牙子	久美子	

箏高音

尺八

真澤	中山	前坂	上村	清原	重本	阿部	住友	近藤	蓮池	阿部	吉田	笠井	竹内	宮武	櫻井	大西
輝吉	康夫	樹風	晴悠	晴隆	晴尚	藤風	随風	晴芳	澄風	晴匠	晴耕	秦風	倫風	晴園	晴眉	晴二



詠

阿波の風物詩

大和陽心流瑞城会・揚心流日本朗詠会・瑞鳳流日本吟詠会 吟道瑞祥流・
乃木流吟詠舞道徳島県本部・浄心流龍峰会 貫心流吟道吉野川愛好会

一、 剣舞

山田 貢村 作

剣山

吟詠 揚心流日本朗詠会

奥村 瑞克
笠松 盈心
木下 幸堂

剣舞 揚心流日本朗詠会

寺澤 寛心
高橋 宏堂
高橋 英堂

二、 剣舞

田中 亥山 作

東祖谷の某家を訪れて

吟詠 瑞鳳流日本吟詠会

野崎 瑞風
三谷 瑞脩
笹谷 瑞範
藤村 瑞宝

剣舞 大和陽心流瑞城会

高橋 大翔
末永 佳翠
佐野 光城
惠美 佳香

中岡 志城
中野 旭城
田岡 佳城
吉田 直生

三、 吟詠

大西 缸蓉 作

独逸村公園を訪ぬ

吟詠 吟道瑞祥流

貫心流吟道吉野川愛好会

野田 祥楓
安藤 鴻蓉
細谷 麗春
林 麗孝



四、詩舞

船王作

和歌 眉のごと

朗詠

大和陽心流瑞城会

松三椎
田宅野
大 大 瑞
峰 楓 扇

詩舞

大和陽心流瑞城会

木 有 中
村 本 井
大 大 大
樟 扇 仙

大 上
屋 野
佳 山
莊 佳
照

五、

詩舞

高橋祥翠作

鳴門海峡を過ぐ

合吟

七流会派合同

小濱嗟村佐大岸萩岩児松野溝西三椎龜
山田峨井野谷本原佐島田田測條宅野谷
龍龍龍静静揚揚瑞瑞瑞楓大祥祥静大瑞龍
清赤煌初美頌真雅光楓峰楓揚綜楓扇藍

荒松堀三木浜
井原部木田
華華佳麗麗龍
蓮静欣揚純綠

詩舞

揚心流日本朗詠会

笠福日神遠中大上前坂岡裏近斎中木石
井島下田藤島和和田川東田 藤藤川地田
華華華華華華揚揚揚揚瑞瑞瑞瑞瑞瑞
鳳弘玲弓藤芳穂穂馨鈴宝豊精昂津彩房

23 長

唄 稀聲会

雨の四季

山田抄太郎 作曲

唄 稀音家 五京

三味線 稀音家 四郎五郎

川野 志津枝
西岡 栄子
後藤 悦子

稀音家 五芳恵
宮本 春美
宮内 正子

24 三

曲 当道音楽会 菊美会

花紅葉

宮城 道雄 作曲

竹保流尺八徳島県支部 劉保会

三絃 菊村 美枝子

箏 室 志津代

尺八 兼松 劉保

浜井 弘保

25

筑前琵琶 旭城会

秋風故郷山

三世橘旭翁 作曲

出演者 工藤 旭城



26

三曲

前田 和男 作曲

都山流尺八楽会徳島県支部
当道音楽会徳島中支部

四国路

第一等

菊 菊 堤 吉 鈴 尺八
弘 華 岡 江 原 篠
敏 茂 学 萃 湧 瑞
子 美 山 山 山 山

第十七絃 第二等
木 島 島 本 本
内 本 本 菊
美 有 有 保
香 理 理 保

27

長唄

二世杵屋佐吉 作曲

杵家会徳島支部

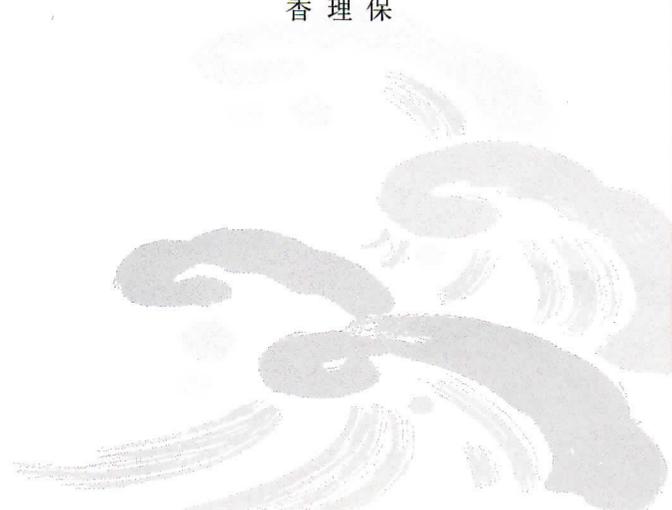
まかしよ

唄

杵 杵 杵
家 家 家
弥 弥 弥
津 代 智
音 弘 代

三味線

杵 杵 杵
家 家 家
弥 弥 弥
弘 登 津
冶 弘 穂



徳島県邦楽協会役員

役職名	氏名	所属団体名
名誉会長	松 永和三治	春松会
顧問	大 櫛 亜童	琴古流尺八竹友社
参与	杵 家 弥代弘	杵家会徳島支部
〃	濱 野 羊 山	都山流尺八楽会 徳島県支部
〃	内 田 華 水	錦心流琵琶欽水会
会長	杵 屋 佐 篠	徳島佐苗会
副会長	椎 野 瑞 城	大和陽心流瑞城会
〃	松 永 和世幸	古 都 和 会
〃	浜 井 弘 保	竹保流尺八 徳島県支部
〃	浅 香 寿 穂	学 識 経 験 者
部長	八 木 瑞 堂	揚心流日本朗詠会
〃	猪 井 恵 朱	日本当道音楽会 所属 朱音会
〃	稀音家 治 乃	稀 綾 會
〃	工 藤 旭 城	筑前琵琶旭城会
〃	大 西 晴一二	琴古流尺八美風会 徳 島 支 部
常任理事	長 田 岳 心	岳 心 流 吟 詠 会

役職名	氏名	所属団体名
常任理事	荒 瀬 龍 鳳	青雲流日本吟詠会
〃	内 田 道 子	宮城会内田社中
〃	室 志津代	正 綾 社
〃	西 條 典 綜	乃木流吟劍詩舞道 徳島県本部
〃	藤 本 雅登伎	徳島箏曲スタジオ
〃	菊 村 弘 子	当道音楽会 徳島中支部
〃	稀音家四郎五郎	稀 聲 会
〃	井 内 久美子	美 乃 里 会
〃	山 下 明 穂	関西吟詩文化協会 明 穂 会
〃	山 上 明 山	都山流尺八楽会 徳島県支部
局長	浜 井 弘 保	竹保流尺八 徳島県支部
事務局長	杵 屋 佐伴苗	玄 の 会
事務局	清 水 露 保	竹保流尺八 徳島風の会
〃	杵 屋 佐世篠	郁 の 会
〃	監 事 東音三木千佳子	佳 趣 会
〃	杵 屋 佐田篠	篠 懸 会



徳島県邦楽協会